

○1～3号機廃炉作業及び現場作業の進捗の確認

第11回事故分析検討会及び第3回連絡・調整会議において審議した事項に関するもの

1. 従前より作業中の高汚染のSGTS配管撤去について、線量の把握や切断方法及び保管方法、事故時の痕跡の記録などについて作業工程も含めて議論する。
2. 過去、東京電力が事故分析の観点で実施を予定していた調査に関する進捗状況について確認。

その他

3. 1, 2号機オペフロにおける燃料取り出しのための種々の廃炉作業のうち、事故分析に影響を与える恐れのある作業の抽出・対応の検討状況（記録方法や保存の可否を含む）について確認。
4. 1, 2号機SGTSの線量等、状況調査の進捗状況と連携について。
 - 1, 2号機SGTSは、原子炉建屋内SGTSユニットにおける線量把握が必要。よってSGTS室へのアクセス性が確保されることが必要。また、建屋内外及び1, 2号機排気筒接続部までの汚染分布の把握は、事故時のFPガス挙動把握に重要なため、配管全体の汚染分布を把握する必要がある。

現地調査等の案件例

これまでの第11回事故分析検討会及び第3回連絡・調整会議において、実施が検討されている福島第一原子力発電所における現地調査等の案件については、以下のものが上げられている。

- ① 1 / 2号SGTS配管穿孔調査
- ② 1号機真空破壊弁の中央制御室リミットスイッチ導通試験
- ③ 1～4号機SGTS室内調査（ロボット調査等）
- ④ 1 / 2号スタックの解体筒身の詳細線量測定

また、以下の現場作業については、事故分析にも密接に関与する可能性があると考えられる。

- ⑤ 1号機IC排気口撤去
- ⑥ 1号機オペフロ廃炉作業
- ⑦ 2号機オペフロ廃炉作業